

### (3) 地域コミュニティについて

#### 想定課題

新都市のクラスターの整備に伴い、多くの転入者が見込まれるが、地域におけるコミュニティ形成はどのように考えるべきか。

#### 対応方向

国会等の移転は、人口の増加を伴うものであり、考え方やライフスタイルの異なる人が新たに地域に入ることによって、新しい地域コミュニティが形成されることとなります。

これに伴い、地域住民の生活様式が変化していくことが考えられますが、那須野ヶ原は、明治の開拓以降、転入者を受け入れ地域社会を形成してきた歴史から、新しい住民と地域住民が融和した地域コミュニティを形成できる土地柄であると言えます。また、新都市の建設は数十年という長い年月をかけてゆるやかに行われるものであることから、地域社会に急激な変化が起こるわけではなく、転入者と地域住民との関係も時間をかけて成熟していくものと考えられます。

国会等の移転により、新都市において最先端のIT（情報通信技術）が整備され、場所や時間に拘束されない活動が行われるようになれば、地域としての教育活動、福祉を初めとするボランティア活動、まつり・イベントなどの文化活動など、様々な地域活動や交流が盛んになると考えられます。

そして、こうした活動を通じて、お互いに広い心を持ち、磨きあいながら、他に誇れる地域形成、コミュニティ形成が、長い期間の中で着実に展開されていくものと考えます。

特に、地域での教育については、子どもたち同士の活動を核として、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々がふれあう交流活動を更に活発にすることが、コミュニティ形成の面からも重要なので、学校・家庭・地域社会がより一層連携し、一体となった教育ができるよう、様々な取組を検討していく必要があります。

このように、新たなコミュニティ形成のためには、これらの地域活動への積極的な参加など、住民の努力が最も大切ですが、新都市の整備に当たっては、これらの地域活動の「場」となる施設等ハード面の整備と地域の交流・連携を促進する仕組み、体制等ソフト面の整備を検討する必要があります。